



松尾俱樂部

(題字は第2代代表幹事 堀内惇さん書)

2019年(令和元年)
5月1日
第166号
発行人 白井 透
編集人 宮島光男

第171回例会 5月25日(土)

「中高年を生き生きと：基準値より期待値」

心臓外科の権威 黒沢 博身氏(60期)

「平成」から「令和」へ。天皇の生前譲位に伴い5月1日から新しい時代が始まります。時の経過には何の変哲もないようですが、やはり何か気持ちや弾む思いがするのは日本人としての心情でしょうか。平成期30年余の歳月への感慨を残しつつ、改元された「令和」への期待を込めて歩んでいきたいものです。

さて、第171回例会は元東京女子医大心臓血管外科主任教授で世界の心臓外科学会会長も務めた権威黒沢博身先生(60期)に、中高年の健康の在り方についてお話を伺うことにしました。会員にも多くの知己がおり、お世話になった方もおられると存じますが、「丈夫で長持ち」するためにも先生のお話を伺うのは大変良い機会になると期待しています。大勢の皆さんの参加をお願いします。例会後はいつもの通り懇親会を開きますので、こちらにもご参加ください。

【講師プロフィール】黒沢 博身氏 佐久市中込出身。上田高校60期(1962年卒)、東北大学医学部卒。東京女子医科大学日本心臓血圧研究所外科(榊原任門下生)。フロリダ大学、アムステルダム大学、王立ロンドン小児病院留学。東京慈恵会医科大学心臓外科主任教授、東京女子医科大学心臓血管外科主任教授。世界小児先天性心臓外科学会会長。現在、榊原サピアワーククリニック名誉院長、社会福祉法人恵仁福祉協会アザレアンさなだ理事長。著書に：Atrioventricular Conduction in Congenital Heart Disease(1987年Springer。2013年Springer社の創立170周年記念事業で厳選された40冊のeBookに選ばれる)『心臓外科の刺激伝導系』(2013年医学書院)



日 時：2019年5月25日(土) 午後2時より(受付開始：午後1時半)

場 所：連合会館4階401会議室

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 電話：03-3253-1771

会 費：3,000円(飲み物、クッキー付き)

講 師：黒沢 博身氏(くろさわ・ひろみ)

演 題：「中高年を生き生きと：基準値より期待値」

松尾俱樂部代表幹事 白井 透(60期) Tel & Fax 03-3862-1065

会員短信

<編集部より>「会員短信」は会員の皆様の交流スペースです。最近、近況や感想が少なくなり気になります。出席の会員も含め皆様の思いをお寄せください。発行の時期が頂いたお便りの内容とずれて迷惑をおかけすることもあります。お許しください。今回は3月の例会への出欠の返信です。

▶篠原 泰司 (48)

連絡ありがとうございます。

▶小林 宏 (50)

月に一度自治会で「歌う会」を主宰しています。唱歌から演歌まで20曲。毎回30人集まります。途中でコーヒブレーク。歌うのはのどの筋肉の強化につながります。よければ見学においで下さい。

▶守屋 貞重 (50)

ご案内有難く拝見しました。残念ですが、出席できません。ご盛会を祈り上げます。

▶池田 義雄 (51)

昨秋ほぼ30年住んでいた文京区千駄木から中央区日本橋人形町に転居しました。転居先は娘一家が暮らしているのと同じマンションです。千駄木も「谷根千」といわれる古い東京の面影を残すところでしたが、人形町も甘酒横丁、安産祈願の水天宮、演目豊富な明治座と好趣にあふれた町です。

▶上原 隆雄 (51)

難聴気味で参加が厳しいです。

▶内久根 孝一 (51)

いつのまにか「会員短信」欄左端上段になってしまいました。84歳ですが現役続行。どこまでいけるか自分でも楽しみです。

▶中島 宏 (51)

ずっと下の元同僚、平井君の話をぜひ聞きたいの

ですが、体調次第なのは残念。詳しくご本人の本音まで突っ込んで聞いてください。

▶池内 修 (52)

幹事の皆さん、何時もご連絡お世話いただき、ありがとうございます。出来得る限り参加したいと考えていますが、何分体調次第という所がありまして…申し訳ございません。

▶須田 武久 (53)

体力回復までもう一步、欠席いたします。ご盛会を祈ります。

▶石井 光春 (54)

どのように「北」をみておられるか、大変興味があります。

▶沓掛 文哉 (54)

中学の同級会出席のため帰郷をひかえており、残念ながら欠席です。

▶倉島 彰 (54)

朝鮮半島問題には関心があるので是非出席したいところですが、よんどころない用件と重なってしまい、残念ながら欠席です。自分自身はお蔭様で元気ですが、ワイフがパーキンソン病で介護ホームに入居しているため、毎日様子を見に行っています。

▶田村 朗 (54)

松尾倶楽部170回目とうかがってびっくりしています。日本外交の閉塞感をどうしたら打ち破れるのか?カタくなった頭を少しでもほぐしたくうかがい

連合会館の地図



交通のご案内

〒 101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
 TEL: 03-3253-1771 (代表)
 FAX: 03-3253-1765

地下鉄

千代田線「新御茶ノ水駅」B3出口 徒歩0分
 丸の内線「淡路町駅」※B3出口まで徒歩4分
 都営新宿線「小川町駅」※B3出口まで徒歩2分
 丸ノ内線、新宿線をご利用の方は地下道を通り千代田線方面へ。
 B3a、B3b出口は違う方向へ出ますのでご注意ください。

JR

中央線・総武線「御茶ノ水駅」聖橋出口 徒歩5分

ます。

▶土屋 勝俊 (54)

健康で長寿がモットーで、冬季でも仲間と温暖な伊豆や房総の里山を歩いています。申し訳ありません、次回の例会は欠席させていただきます。

▶寺島 重暉 (54)

年と共に周囲の環境に対する抵抗力（主として温度や音）や親和力（主として周囲との協調性？）が衰えてきましたが、何とか年齢相応には元気だと自分では思っています。

現在、健康寿命を少しでも伸ばすべく、用事が無くて雨が降らなければ、午前中は近所の公園で野鳥の撮影をしています。

▶藤村 延魚 (54)

米朝関係について関心大ですが、都合がつかいません。81歳になりましたが元気にやっています。もちろん口だけ達者で、身体の方は年齢相応です。ご盛会をお祈り申し上げます。

▶丸山 則夫 (54)

都合により、今回は欠席します。大過なく過ごしておりますが、流石に体力の限界を感じ、3年前にゴルフは返納。その年は「乗馬クラブ」に通い、お馬さんと気脈を通ずることができた。翌年は「リンパ療法」を受講し、終了。昨年はNHK学園の「もう一度 ENGLISH」を通教し、終了。さて今年はどうしようかと考えたが、暫く休止していた「仏像彫刻」を再開し、あの世に同道してもらう方々を増やそうかと思っています。

▶宮島 光男 (55)

米朝関係、日韓問題について確かな視点を持ち、冷静に分析してくれる平井氏の講演が会員の皆さんに問題を考える良い手がかりになってくれると確信しています。会員の皆さんからのお便りをお待ちしています。（幹事 編集担当）

▶飯高 盛龍 (56)

欠席ばかりですみません。

▶小宮山 栄 (56)

3月9日も箸の講演会があり欠席です。私は元気ですが、箸りんぴっく等で忙しくなりました。

▶笹沢 政道 (56)

所用あり、欠席いたします。ご盛会をお祈りしています。

▶飯島 辰夫 (57)

本年もまたあの二人にひっかきまわされそうな時世です。そんな中、平井久志氏の話が聞けるなんて幸せです。いろいろな見方があるとは思いますが、期

待度大です。今年もよろしくお祈りします。

▶田沢 雄二郎 (57)

米朝関係の現状および日本との関係をより詳しく聞けるものと期待しております。・・・当日参加の返事をしましたが、急遽、私が会長をしている老人会の行事が入ってしまい、残念ですが欠席します。米朝の関係に関心を持っております。

▶堀 英毅 (57)

所用と重なりました。失礼します。

▶山浦 武 (57)

素晴らしい企画、ありがとうございます。最新の話題に期待しています。

▶渡辺 静雄 (57)

いつもご苦勞様です。時宜を得た演題ですが、残念ですが以前からの予定があり、参加できません。土日開催の例会は行事が多く不参加が多くなり残念です。よろしく。

▶寺島 知恵子 (58)

昨年秋の山崎氏の講演会も JAXA 見学会も体調不十分で、家族との予定等を優先して不参加。好企画なのに残念でした。幻冬舎の「日本人の起源」、人気本で入手にちょっと手間取りましたが、秘かに縄文人を敬愛する私の腑にストンと落ちる労作です。後期旧石器時代へと関心を広げてくれるものでもありました。山崎先輩の「ときめき」を多くの松尾クラブの皆さまと共有できて、感謝しております。

▶堀内 昭 (58)

2次会に初めて、会友のつもりで参加させていただきます。

▶戸島 忠彦 (60)

北の非核化は？一部制裁解除？2月末に2回目の米朝首脳会談予定。3月9日の例会はまさにグッドタイミング、ホットなテーマの講演会。期待大でしたが、所用があり、参加できず残念です。

▶笠井 徳爾 (61 幹事)

お隣の韓国との接し方は報道機関によって姿勢が異なり、何とも理解できません。平井講師の話を楽しみに参加します。

▶沓掛 忠 (61)

関心を持っている演題であり、楽しみです。本当に米朝交渉がどのように進んでいくか、「今年の大きな課題」かと思えます。

▶岩井 重一 (62)

3月9日の講演会に所用のため欠席させていただきます。昨年は12月27日の佐渡が嶽部屋朝稽古見学には多数の方々のご参加をいただきありがとうございます

ございました。渡邊幹事様の見学記は読み応えがあり、感謝です。また機会があれば親方に話して、企画協力いたします。よろしくお願いいたします。

▶片山 隆行 (62)

所用と重なりました。申し訳ございません。

▶高梨 奉男 (62)

トランプ大統領の自国第一主義が世界に蔓延するのではないかと不安です。米朝関係は当然日本に大きな影響があることでしょう。大変興味あるテーマで楽しみです。

▶田島 善光 (62)

今後もよろしくご指導ください。

▶清水 健一 (63 幹事)

幹事就任一年。“歩めば道”、新たな出会いを楽しんでいます。

▶中西 戴慶 (64)

大分ご無沙汰ばかりで、すみません。盛会をお祈りします。

▶倉沢 裕 (69)

別所温泉上松屋旅館は今年創業 150 周年になります。この機会に「旅宿 上松や」と改名し、ロゴも変更しました。詳しくは HP を参照ください。

▶斉藤 和彦 (68)

欠席で申しわけありません。ご盛会をお祈り申し上げます。

▶古畑 克巳 (69)

先日の佐渡が嶽部屋の朝稽古は迫力がありました。人と人が頭からぶつかる音、力士の吐く息、飛び散る汗等、普段接することがないものばかりでした。これから上に上がっていく力士を応援するのも相撲の楽しみの一つであると分かった気がします。幹事の皆さま、ありがとうございました。

▶関 博明 (72 幹事)

最近欠席で申し訳ありません。上田で同期 (72) 長谷川正之氏に知り合いました。アグリフードビジネスアドバイザーの肩書を持っておられます。フー

ドの観点から産業革新を目指しています。一度講演をお聴きになるのも良いかと思えます。

▶金井 文男 (73)

残念ですが、都合がつかず欠席とさせていただきます。

▶荻原 貴 (79 幹事)

約 8 ヶ月かけて無理のないプチダイエットに成功！ (3 キロ減、ベルトの穴 1 つウエスト減) その秘訣は・・・お会いした時にお話ししますね。

▶毛利 元晶 (81)

野球班の OB 会と重なりまして欠席とさせていただきます。よろしくお願いいたします。1 月大島に行きました。熱海からジェット船にて 1 時間であっという間に着きました。宿泊した大島温泉ホテルの部屋から日本猿が来ているのを発見、驚きでした。

▶桑原 安代 (特)

169 回例会の大相撲朝稽古見学・・・めずらしい体験ができました。ありがとうございました。

▶滝澤 尚久 (特、前上田郷友会会長)

平井久志様の日朝交渉についての講演は面白そうなテーマですので、是非参加させていただきます。幹事の皆さまご苦労様です。

▶吉原頼道 (特)

年末、佐渡が嶽部屋の朝稽古を見学しました。テレビとは違った雰囲気です。忍耐と努力、稽古の大変さを痛感しました。終了後はチャンコ鍋をいただき本物の味を満喫しました。

▶土屋 陽一 (ゲ上田市長 73)

お世話になっております。本年もよろしくお願いいたします。市長宛ご案内いただきましたが、あいにく公務が重なり出席が叶わず失礼いたします。ご盛会を心よりお祈り申し上げます。

寄付者一覧

期	氏名	金額
53	堀内 昭	3000
特	滝澤尚久	10000
匿名		5000

新規入会者

64 野村 一

赤松小三郎研究会より講演会のお知らせ (定員 200 名)

「赤松小三郎と坂本龍馬・中浜万次郎」

日時：9 月 28 日 (土) 午後 2 時～ 4 時半 (受付開始 1 時半)

会場：日比谷図書文化館 (地下コンベンションホール)

講師：岩下 哲典 東洋大学教授 (歴史学博士)

会費：1,000 円 事務局：070-2685-2384 (小山)

申し込み先：kannazuki-6318@kxb.biglobe.ne.jp

30年ぶり相撲朝稽古見学も 多彩だった平成30年の活動

例会は第166回(H30.2.3石黒久仁子氏の講演会)、第167回(H30.5.27JAXA筑波宇宙センター見学)、第168回(H30.9.29山崎茂幸氏の講演会)、第169回(H30.12.27佐渡が嶽部屋朝稽古見学)を開催、いずれも好評、盛況な集いとなりました。皆さま多数様のご参加、ありがとうございました。また、ご寄付、切手の提供、会報広告のご掲載大変助かっております。心より御礼申し上げます。

松尾倶楽部収支(平成30年)

項 目		金額(円)	
収 入	会費収入	1,007,000	例会・工場見学会・幹事会の会費
	寄付金収入	41,000	
	会報広告料	100,000	
	その他の収入	10,024	入会金・預金利息
	計	1,158,024	
支 出	会場費等	852,267	例会・幹事会の会場費、工場見学会・大相撲見学会費用
	講師費用	63,910	講師謝礼、折衝費
	会報費用	185,842	会報印刷・送料、封筒印刷代
	その他費用	52,480	他会への祝儀、香典・供花代、雑費
	計	1,154,499	
差 引		3,525	

(注) 黒字額3,525円は剰余金に繰り入れました。この結果、次年度への繰越剰余金は2,821,360円です。

「上田松尾」の記念ボール

甲子園記念館に展示

やや旧聞になりますが、平成最後の春の選抜高校野球は愛知の東邦高校が千葉の習志野高校を6-0で破り、平成元年以来30年ぶりの優勝を果たしました。

その開催地、甲子園球場に併設された甲子園記念館で期間中、館内の壁一面にこれまでに甲子園大会に出場した高校名をプリントした硬式球が展示されていました。そのちょうど中央あたりに「上田松尾高校」のボールがありました。写真は64期、野村一さんが白井メール、に送信、白井メールから配信されました。

「上田松尾」は1957年(昭和32年)夏の大会に出場、前年優勝の京都平安高校を2回戦で破り準々決勝に進み、この年優勝する広島商に敗れました。「松尾」が「上田高校」と名前が変わる最後の年でしたね。

あれから62年、母校はその30年後にも2回目の甲子園出場を果たしましたが、今や「夢のまた夢」なのでしょうかね。



Outsourcingの知識集団

株式会社 fellow

取締役社長 古畑克巳 (69期)
(公認会計士)

東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1109号
TEL 03-3293-8931 FAX 03-3295-6005
<http://www16.ocn.ne.jp/~fellow/index.html>

【(編集者より)ここに掲載する記事は、米国オレゴン州ポートランド市在住の磯野(旧姓武重)玲子さん(69期)から寄せられたお便りです。磯野さんは旧中仙道茂田井合の宿にある武重酒造の縁戚で、米国在住ですが日本に里帰りした時には関東同窓会のゴルフコンペにも参加して頂くなど親しい会員もおおり、このほど記事を寄せてくれました。会員の皆様からもお便りやエッセイをお待ちしています】

▼住みやすく魅力あふれる

私が40年以上前にオレゴンに住み始めたころは『オレゴンってどこ?』と聞かれることが多かったが、最近、ポートランド市はアメリカでも一番訪れたい場所の一つとなっているから時代の変遷には目を見張るものがある。

オレゴン州はアメリカで9番目に大きい州で、カスケード山脈を境に東と西に大きく二つに分けられる。州最大の都市ポートランドは海にも山にも近く、数多くの滝やハイキングコースがあり、山の幸(松茸を含むキノコ類)や海の幸(鮭、蟹、貝類など)が豊富となれば、気づかれるのも時間の問題。

少し前までは、オレゴニアン(オレゴン住民)は、他の州からの移住を妨げるため『ここは、年中雨ばかり降る所だよ。』と言いふらして牽制してきたのだが、インターネットの普及とともに、実は夏はカラッとして夜9時まで明るく、自然の美しい素晴らしいところだということが知れ渡ってしまった。また、ポートランドおよび近郊市内は、車に依存しなくてもいい生活ができるよう設計されている。かくして、カリフォルニアとシアトル(ワシントン州)の間にある静かなオレゴン州は急激に人口が増えつつある地となっている。

▼日系企業も数多く進出

太平洋戦争時代、日系人にはつらく暗い歴史を経たが、現在のオレゴン是非常に親日的な州である。数多くの姉妹都市をはじめ、経済的にも文化的にも深いつながりを持つ。20-30年ほど前までは、多くの商社が穀物や材木の輸出に携わってきたが、ハイテク企業誘致に力を入れてくるにつれ、エプソン、東京エレクトロンといったインテル関連企業も加わり、ヤマサ醤油、味の素、桃川酒造、森永乳業といった食品関連企業から、あまり知られていないところでは、競馬の馬に与える干し草輸出業務など幅広い分野でオレゴンで活躍する中小企業も増えてきた。世界的規模に成

長したナイキ、コロンビアスポーツなどもオレゴンが発祥地である。

日本食レストランも沢山あり、日本食は大人気だ。最近では日本の菓子パンを売る店もできている。生活面では、ウォッシュレット付きのトイレ(TOTO)を住宅に備え付ける人も少なくない。保育園レベルから大学までの日本語教育も充実していて『富山カップ』といった日本語のスピーチ大会もあるほどだ。オレゴン在住の日本人は年々増え、現在では8000人以上。私の目から見た大きな変化といえば、アメリカ人と国際結婚をしてこちらで家庭を持つ日本人が非常に多くなったことである。先日、移民局に用事があり立ち寄ったら、セキュリティーを通過する際、普段いかめしい(?)制服姿のお兄さんたちが、私が日本人だと知るやいなや、日本のトイレの話始めた。『日本のトイレって音がでたり、ピュッと水がでたりするんだって?』というような話から始まって、それについて説明し始めると、『ほお、すごく面白い、俺は、いつか絶対日本に行きたいな!俺もだ、俺も。』とみんなが口走ったのには、ちょっと驚いてしまった。こんなレベルまで日本文化に親しみをもつ人がいるなんて、この方たち全員が日本に行く機会があればいいと心から思った。

▼逆輸出したい歩行者専用道路

さて、日本からオレゴンに広まったものはたくさんあるが、逆にオレゴンから日本にも伝わってほしいな、ということもある。

最近の日本の田舎は若い世代が少なく、元気がないようだ。どうやったら田舎を活性化するか、とどこも頭を痛めているらしい。ポートランドには市の中心部から郊外に50km以上続く、自転車と歩行者(ペットもOK)だけ通れる道がいくつもある。空気もよく、水もおいしい日本の田舎にもそのような道を作ったらどうだろう。週末だけでも家族で訪れるところから始めて、田舎に移り住む人も増えるかもしれない。

(了)

第 58 回関東同窓会総会に参加を！

6月29日（土） 如水会館で開催

第58回関東同窓会総会は6月29日（土）、神田一ツ橋の如水会館で開催されます。昨年に引き続き今年も開始時間が午前10時、懇親会の終了が午後3時半と時間を早めており、会費は1,000円引き上げて7,000円になる予定です。

総会では第1部で映像プロデューサー福田礼子さん（72期）の講演、第2部で総会、第3部で母校室内楽班の演奏会があり、最後に懇親の集いとなります。福田さんはテレビ東京（7チャンネル）の人気番組「カンブリア宮殿」の制作に携わっていて、各地の特色のある経営者に取材するなど精力的な活動をしています。当倶楽部の例会でも講演されています。同窓会の上原昇会長は4月に開かれた幹事会で「会員の皆さんに大勢参加して頂き会を盛り上げてほしい」と要望しており、ぜひ多数の参加をお願いします。

本会の金庫は下記の通りです。寄付金、通信費、などの振り込みは下記へお願いいたします。

- ① 浅草橋郵便局 口座番号 No.00140-9-758190 松尾倶楽部
- ② 三井住友銀行 浅草橋支店（店番号614）普通預金口座 No.7337851
松尾倶楽部（マツオクラブダイヒョウカンジ・シライトオル）
- ③ ゆうちょ銀行 ゼロイチキュウ店 当座0758190 受取人名 マツオクラブ
（他行のATMからの送金の場合、店番号は「セ」で検索してください）

【松尾城】

▼「人生百年時代」と言われる。昨年厚労省が発表した日本人男性の平均寿命は81・09歳、女性は87・26歳とのこと。今のシニア世代が生まれて社会人になった昭和時代に比べて、人生もずいぶん長くなった。60歳男性の実質的な平均寿命は約86歳。年長者や女性はさらに長い。定年後の長いシニア生活を、楽しく充実したものにしたい。

▼日本トップクラスの長寿 長野県では以前から推進している「健康寿命…ピンピンコロリ（PPK）」（病気に苦しむことなく、元気に長生きし、最後は寝付かずにコロリと死ぬこと）がある。長寿の要因はいくつかあるようだが、標高の高い自然環境のよい土地で生活し、生涯学習を一緒にできる仲間や近所さんを持つていることなどとされている。そのようにいけばよいのだが、現実には・・・へ朝起きて、具合良いから医者へ行く、みたいなシルバー川柳の傑作が人々の共感を誘う。▼シニア生活を充実させるために、重要な要素の一部として3K（一経済（お金）、健康、交友、または、5K（さらに、教養（今日の用）、教育（今日行く））がある。松尾倶楽部はその多くの要素を持っていると自負しているが、いかがだろうか（幹事 近藤正昭69期）

I T 技術者募集中

未経験者可、経験者優遇

お知り合いの若者をご紹介ください。男女とも可能です。
詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.s-giken.com>

システム技研株式会社

66期 清水通男

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-1 サンフジビル 5F TEL 03-5272-8830 FAX 03-5272-8836

170 回例会報告「米朝交渉の行方と日本のあり方」

ジャーナリスト 平井久志さん

58名参加

第170回例会は3月9日、元共同通信記者で朝鮮問題に詳しいジャーナリスト平井久志さんに北朝鮮非核化の動きについて講演して頂いた。参加者は58名であった。以下に講演の要点を紹介する。(幹事62期 木内和宣記)



◎金正恩と米朝首脳会議

金正恩委員長は父金正日から政権を引き継いだところその実力が疑問視されたが、徐々に軍・党幹部の粛清を図り、独裁政治基盤を確立した。当初は核・ミサイル発射実験など父以来の「先軍政治」を進めたが、経済自立と軍政の両立を目指すようになり、昨年初めに平昌冬季五輪へ参加表明し、急速に韓国と歩み寄りを見せた。その後の韓国文在寅大統領との首脳会談に始まり、6月のトランプ米大統領との首脳会談と多くの動きが続いたが、今年2月ベトナムでの2回目の米朝首脳会談は物別れの結果に終わった。この流れは皆さんご承知の通りである。

今後の動きは曲折があろうが、トランプ大統領は2期目の選挙を控え外交路線で得点を挙げることが必要であり、金正恩委員長にとっても交渉相手はトランプ大統領が最もやりやすいはずである。ここ2年は交渉が続き、来年秋が山場になるのではと思っている。

平井氏の講演はさらに詳細にわたったが紙面の関係で割愛します。

◎日本のあり方

最近、安部首相は拉致問題を自分で解決しようとしているが、日本は国連の経済制裁を厳しく求めている。経済支援をセットにできない提案に北朝鮮が乗るとはとは思えない、と手厳しい評価。米国との関係が解決すれば拉致問題も

進む可能性はあるが、来年秋以降を待つしかないだろう。その間に北朝鮮と水面下でのパイプ再構築が重要である。

◎主な質疑応答

(質) 北朝鮮は今後どう変化するか。南北統一はありうるか。

(答) 今の独裁体制は続くが、質的・経済的変化はありうる。ベトナム形社会主義国家になるかも知れない。南北統一は経済格差から見ても韓国人が望むとは思えない。

(質) 北朝鮮のICBMへの米国の防御力は。(答) 北のICBMは既に米国本土に届く能力を持つようになっていると考えられる。防御能力を考えるとときには潜水艦の存在も考慮すべきで、全面的に防御できるか難しいと思う。

(質) 北朝鮮との水面下の交渉力、外務省には残っているか。また北朝鮮援助問題に加えて韓国との関係改善に向けての対応を日本は考えているか。

(答) 現時点では官邸主導であり、外務省にその力は無い。また韓国との関係も両国のトップ(政権)が代わらないと難しいと思うー。

講演終了後、近くの居酒屋に集合。平井さんも参加して31名の大懇親会となった。ここでも大いに語りあい、今回のテーマへの関心の高さがうかがわれた。

